

令和6年度行政評価 施策評価シート （令和5年度実績）

施策名 地域連携の充実

施策コード 5020202

1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	第2節 学校教育
	施策	地域連携の充実	

基本方針	
・学校、地域、家庭及び関係機関が相互に連携を深めながら、地域社会全体が協働して、泉佐野の未来を担う子どもたちの「生きる力」を育成します。	
現況と課題	
・学校、家庭及び地域において、それぞれの又は総体としての教育機能を再構築することや、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、安全に生活できる地域コミュニティを形成することが求められています。	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民及び児童・生徒	
意図（どのような状態にしたいのか）	
学校、家庭、地域社会が一体となり、児童・生徒の「生きる力」を育む。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	46.0						
重要度（偏差値）	51.1						

4. 施策にかかるコスト									
コストの内訳	人件費	単位	R4決算	R5決算					
	事業費	千円	2,056	2,106					
	フルコスト		1,186	1,522					
財源内訳	国庫支出金	千円	3,242	3,628					
	府支出金		0						
	市債		0						
	その他		0						
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		3,242	3,628					
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		1,186	1,522					

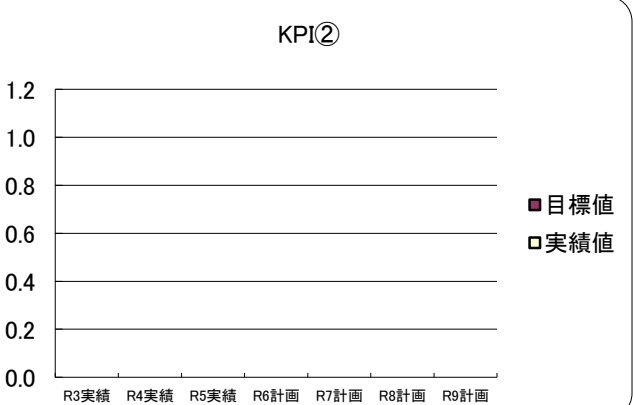
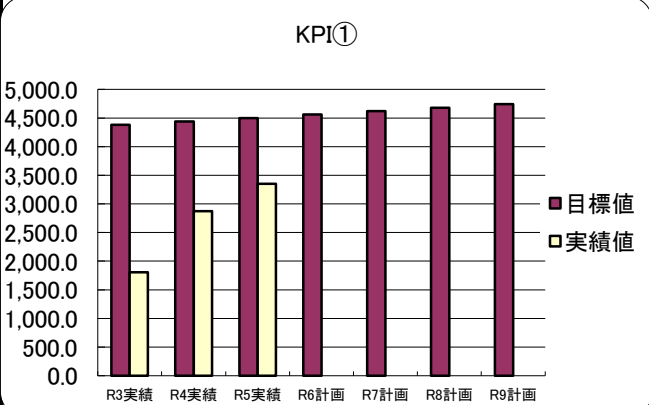
5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		フェスタ年間参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	4,382.0	4,441.0	4,500.0	4,560.0	4,620.0	4,680.0	4,740.0
実績値	1,808.0	2,874.0	3,349.0				
達成度	41.26	64.72	74.42				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
総合的教育力活性化事業を活用し、現在すべて中学校区に地域の教育力向上を目的とした地域教育協議会が設置され、4中学校区では、地域の関係機関・団体が力を合わせて、地域フェスタに取り組んでいる。この数値を指標とすることで、地域の人々と子どもたちのつながりがぐあいや地域連携の強まりや深まりを示すものと考えている。		1校区のフェスタ参加者を目標1000人とし、実績を考慮しながら目標を設定した。今後においても生徒数の減少が想定されるため目標値を再設定する必要がある。		小中学生の参画、人材の発掘、内容を一層の充実に向け努力することにより、活動を継続してきたが、令和2・3年度は、コロナ禍により、例年通りの実施や開催ができなかったが、令和4・5年度は各中学校区において工夫して開催することができるようになってきた。			

② KPI 2							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			



図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	地域フェスタにおける地域の人々の参画意識は高まっている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	地域フェスタにおける、地域の人々の参画意識は高まっている。 平成30年度市民アンケート調査の満足度(偏差値)が平成24年度より向上した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	少子化による低年齢層の減少により、利用者数の減少。 地域教育協議会の活動に参画してもらえる新しい人材の確保。
	合計点	(10点中) 5点	
	総合評価	C	少子化や地域のつながりの希薄化等の社会的要因はあるが、学校が地域コミュニティづくりの拠点となるよう事業を推進していきたい。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		C	H30市民アンケート結果から満足度を大きく下げている。学校教育で地域と連携すべきものは何か、より具体的なものをイメージする必要がある。イベント中心の現状を大きく見直しする必要がある。
三次評価(理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		C	各中学校区の地域教育協議会を中心とした各種イベントの参加者数の増に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01048000	教育研究事業	2,106	1,522	1,522	0	B
合計			2,106	1,522	1,522	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード		020103020	予算コード		01048000	従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		評価点		一次評価		B	
事務事業名		教育研究事業				正規職員数		0.25	国庫支出金		0	有効性		B		外国籍児童・生徒に対する教育の充実は今後も継続していく必要がある。地域フェスタも含めた地域力の向上の取組みは今後も推進していくものである。	
担当課		学校教育課				嘱託職員数		0	府支出金		0						
根拠法令等		市単独事業				臨時職員数		0.05	市債		0	効率性		B			
		■要綱・要領				歳出(千円)			その他		0						
		泉佐野市人権教育の基本方針				人件費総額		2,106	一般財源		3,628	妥当性		A			
								減価償却費		0							
								事業費		1,522	受益者負担		A				
事務事業類型		運営事業				フルコスト(千円)				3,628	緊急性		C		事務事業実施内容		
実施手法		一部委託				市民1人当たりコスト(円)				37				C		フェスタの開催等。	
対象						活動指標				R5実績		公的関与		A			
特定の市民				対象数		7368		大阪府在日外国人教育研究集会		1.0							
児童生徒、教職員								泉南地区集まれ子どもたち集会		1.0		実施主体・委託化		A			
事業の内容								泉佐野市在日外国人教育研究会運営委員会		4.0							
在日外国人教育を推進していくために、各校園で行われている実践などについて集約し、さらなる推進にむけて研究委託している。 教育や子育てに関する課題を学校、家庭、地域の団体グループ等が共有し、課題解決にむけた協同の取り組みを地域教育協議会（すこやかネット）の設置により行う。総合的教育力活性化事業（子どもの安全確保、フェスタの開催）								学校園での社会教育事業（フェスタ等）		5.0		他の事務事業との関連		A			
								成果指標		R5実績		透明性		A			
								大阪府在日外国人教育研究集会参加人数		11.0							
								泉南地区集まれ子どもたち集会参加人数		9.0		財政健全化計画		該当なし			
								泉佐野市在日外国人教育研究会運営委員会 参加人数		80.0							
								フェスタの参加総数		3,349.0		財政健全化の取組		該当なし			
								コスト指標		R5実績		改革改善プラン達成度		該当なし			
事業の目的								集会・運営委員会参加者一人当たり経費		36,280.0							
総合的教育力活性化事業を活用し、地域の教育力を高める。 児童・生徒及び教職員の在日外国人教育の推進を図る。								フェスタ参加者一人当たり事業費		1,083.3							